

特集…認知症
安心して暮らせるまちに

○オレンジリングでつなぐ○
認知症サポーター17万人

市では、認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を見守る応援者を養成する「認知症サポーター養成講座」を開催しています。

講座の講師役キャラバン・メイトの武馬さんに聞きました。

■キャラバン・メイトになつたのは

わたしは介護相談員をしているので、認知症を身近に感じています。認知症を多くの人に理解してもらおうと手伝いができるならと登録しました。
※現在9人(男4人・女5人)のキャラバン・メイトが活動中。

■講座はどいずで・費用は

出前講座で展開しています。数人集まれば、自宅でも地区の公民館でも、わたしたちキャラバン・メイトが出向きます。会場使用料以外の費用は市が負担。教材と認知症サポーターの証で

ある「オレンジリング」がもたらす。10月1日現在、60回の講座を開催し、4000人のサポーターが誕生しています。

■良かったことは

小学生に講座を開催した数日後、「孫が認知症サポーター養成講座を受けて帰ってきて、「具合が悪くなったら言ってみてね。わたしがあばちゃんを見るから」と言ってくれた」と喜んでもらえたことや、「あなたは誰にサポートされますか?」の問いに考えさせられた」と身近なこととして考えてくれてうれしかった。

■養成講座で留意していることは

高齢化が進み、高齢人口に占める認知症高齢者が増加しています。講座では、「認知症の基礎知識」「認知症の人への対応」「認知症

県内での認知症サポーター養成状況 (5月31日現在)

①サポーター数県内ベスト5 (人口10万人以上の市)

順位	市	サポーター数
1	名古屋市	1万5661人
2	安城市	3991人
3	一宮市	2688人
4	岡崎市	2211人
5	豊橋市	2000人

②サポーター1人当たりが担当する高齢者数県内ベスト5 (人口10万人以上の市)

順位	市	高齢者数
1	安城市	7人
2	半田市	25人
3	名古屋市	28人
4	岡崎市	28人
5	一宮市	28人

◎事務局に聞きました

問 サポーター数が多いのは
答 市の介護相談員が、早くからキャラバンメイトに登録してくれたので、早い段階から窓口の設置や講座展開に取り組みたからです。

問 良かったことは
答 始めたころ、「理想ばかり言うんじゃない。介護したことあるのか。そんなあまいものじゃない」と怒鳴られたことがありました。でも、何回目かの講座のあとに、「こんな感想をもらいました。」

「以前、認知症の母の介護をしていましたが、そのころにこの講座を受けていたら、もっと母のことを考えてあげられたのでは、もっといい介護ができたのではないかと思います」と。その時「開催して良かった。」



介護保険課 神崎麻奈美

今後もし続けていこうというつもりになりました。
問 今後はどのように
答 今までは、大人向けの教材しかありませんでしたが、今年小学生用と中学生用ができました。今後は、年齢にあった講座が開催できるので、一人でも多くの市民に受講してほしい。家族で受けてくれると良いと思います。そして、認知症になっても安心して暮らせる安城市になってほしいです。

さあ、受けてみよう!!
認知症サポーター養成講座

11月11日(いい日いい日)は介護の日です。市では介護の日になんで、「認知症サポーター養成講座」を開催します。この機会に、家族や地域の介護について考えてみましょう。
●とき 11月28日(土)午前9時30分~正午
●ところ 文化センター

●内容 認知症に関する基本的な知識・認知症の本人およびその家族への接し方など
※「劇団まねきねこ」による認知症をテーマにした寸劇もありま

●対象 市内に在住・在勤・在学の人
●定員 150人(先着順)
●申し込み 申込書に記入し、11月5日(木)19日(木)午前8時30分~午後5時15分(必着)に持参・郵送・電話・ファクス・Eメールで介護保険課(〒446-1855



わたしたちも認知症サポーター



キャラバン・メイト 武馬 ばさん

介護相談員や地域福祉の支援ボランティアとして活躍

の人を地域で支える」と事例をわかりやすく紹介しています。受講者の中には、認知症になってしまったらと不安を抱えている人もいます。高齢者には、認知症にならないように、若い人には、将来家族の介護をするときにと、自分のこととして真剣に考えてもらう機会になればと願っています。

■今後はどのように

認知症になっても「安心して

暮らせるまちづくり」を目標にして、一人でも多くの認知症サポーターを育成していきます。市民全員がオレンジリングをつけてくれることを願っています。
●開催してほしい対象 企業(銀行・スーパーなど)、商店、町内会、学校(小学校・中学校・高等学校など)、福祉委員会、高齢者教室、民生児童委員、老人クラブ、子ども会、趣味サークル、友人同士
※企業はテキスト代(1人100円)を負担していただきます。